

## 令和3年度第3回仙台市経営戦略会議（令和3年11月4日開催）

### 議事概要

|   |         |  |
|---|---------|--|
| 1 | 日 時     | 令和3年11月4日（木） 13:30～  |
| 2 | 場 所     | 仙台市役所本庁舎2階第1委員会室   |
| 3 | 出席委員    | 小粥純子委員、斎藤範夫委員、菅井茂委員、関美織委員、舘田あゆみ委員、山口強委員、山崎喜代宏委員、渡邊浩文委員〔計8名〕  |
| 4 | 欠席委員    | 青木ユカリ委員、熊沢由美委員、佐藤博美委員、大黒雅弘委員、馬場正尊委員〔計5名〕   |
| 5 | 事務局     | 総務局長、総務局次長、総務局総務部長、総務局人材育成部長、総務局総務部コンプライアンス推進担当課長、総務局総務部行政経営課長、総務局人材育成部人事課長、総務局人材育成部職員研修所長、まちづくり政策局デジタル戦略推進室長、まちづくり政策局情報政策部デジタル行政推進担当課長、財政局財政部財政企画課長、財政局理財部本庁舎建替準備室長、市民局協働まちづくり推進部長、市民局協働まちづくり推進部地域政策課長、市民局協働まちづくり推進部市民協働推進課長、健康福祉局保険高齢部高齢企画課長、子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課長、子供未来局幼稚園・保育部環境整備課長、環境局廃棄物事業部廃棄物企画課長、都市整備局住宅政策部住宅政策課長、都市整備局住宅政策部市営住宅管理課長〔計21名〕 |
| 6 | 担当課     | 総務局総務部行政経営課  |
| 7 | 次 第     |  |
|   | (1) 開 会 |  |
|   | (2) 議 事 | ・次期「仙台市役所経営プラン」（令和4年度～令和8年度）の中間案について   |
|   | (3) 閉 会 |  |
| 8 | 会議資料    |  |
|   | 資料1     | 第2回仙台市経営戦略会議の主な意見とプラン修正の方向性  |
|   | 資料2     | 仙台市役所経営プラン（令和4年度～令和8年度）中間案   |
|   | 資料3     | 仙台市役所経営プラン策定に向けたスケジュール   |

#### （1）開 会

##### 事務局（司会）

皆様本日もお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。それでは定刻となりましたので、只今より令和3年度第3回仙台市経営戦略会議を開催いたします。

開催に先立ちまして、事務局より新型コロナウイルス感染症対策のお願いでございます。会議中はマスクを着用いただくとともに、可能な限り身体的距離の確保をお願いいたします。また換気のため定期的に窓を開閉させていただきますので、ご了承ください。

申し遅れましたが、本日進行を務めさせていただきます総務局行政経営課の八重畑と申します。よろしく願いいたします。

初めに、定足数の確認をさせていただきます。本日、8名の委員の皆様にご出席をいただいております。定員13名の過半数を超えておりますので、定足数を満たしていることをご報告申し上げます。なお、ウェブ形式にてご参加いただいておりますのは小粥委員、関委員の2名でございます。

それでは議事に入ります前に、お手元の資料を確認させていただきます。

＜配布資料の確認＞

次に、審議運営につきまして、委員の皆様へのお願いでございますが、ご発言される際は、お名前を名乗っていただいた上で、マイクにできるだけ近づき、ご発言いただきますようお願いいたします。なお、音声聞き取れなかった場合には、再度ご発言の確認をお願いする場合がございますので、あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。

それでは会議を進めて参りたいと存じます。ここからは渡邊会長に会議の進行をお願いいたします。

## （２）議 事

### 渡邊会長

皆さん、こんにちは。それでは次第に基づきまして、会議を進めます。

議事に入る前に本日の議事録署名委員の指名を行いたいと思います。前回は小粥委員をお願いいたしました。順番については出席委員の五十音順にしていますので、本日は斎藤委員に議事録署名をお願いしたいと思いますよろしいでしょうか。

### 斎藤委員

承知いたしました。

### 渡邊会長

ありがとうございます。それでは、議事に移りたいと思います。

本日の議事は、次期「仙台市役所経営プラン」の中間案について、この１点です。本日、一部修正の資料もありますが、資料をご用意いただいておりますので、まず事務局から説明をお願いいたします。

### 事務局（行政経営課長）

＜資料１～資料３に基づき説明＞

### 渡邊会長

ありがとうございました。資料３にありました通り、本日の議論を踏まえて、広く市民の皆さんからご意見をいただくパブリックコメントのプロセスが入ることになります。この会議において、中身の議論はこれまでやってきたところですが、市民目線で分かりにくい点もあるかもしれません。用語によっては難しいものも散見される点が気になりましたので、私自身も用語集のようなものは作らなかったのかなと感じました。そのような視点からも、適宜、ご指摘をいただくと良いのではないかと思います。

それでは、委員の皆様からご意見、ご質問などご発言いただければと存じます。今日は普段と比べて人数が少なめですので、手を挙げてご発言いただければと思います。

### 斎藤委員

斎藤でございます。前回の会議を踏まえて、特にP19の「仙台市役所の経営理念」、P20からP21の「仙台市役所の目指す姿」、P22の「実施の方向性」までは事務局によって大分整理されたように思います。

ただ前回の会議において、渡邊会長と関委員が「実施の方向性」を先に置き、それに必要な「経営指標」を出すべきと指摘をされていましたが、そのように整理しましたら、別な粗が見えてきました。具体的な「経営指標」がまだ全部出ていないということですが、例えば、「④協働を推進する」などは、今後どのように整理していくのかなと感じました。

その前に、P20、P21 に掲げる 5 つの「仙台市役所の目指す姿」と、P22 の 5 つの「実施の方向性」がどのようにつながっているのかをまず確認させていただきたい。分かりやすく言えば、それぞれを線で結び付けた時に、「仙台市役所の目指す姿」の①は、「実施の方向性」の①、②につながるなどご説明いただきたいと思います。そのご説明を聞いて、私も頭の中を整理させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

#### 事務局（行政経営課長）

「仙台市役所の目指す姿」と「実施の方向性」の関係についてお尋ねいただきました。こ例えば「①未来世代に責任ある財政運営」について、分かりやすく言えば、「①歳入を増やす」、「②歳出を減らす」というような取組みが財政運営に直結すると思いますが、それ以外にも、「③業務改革」や「④協働」、そして「⑤組織変革」の取組みも財政運営に資するものと考えております。「仙台市役所の目指す姿」は、「実施の方向性」すべてを通じて目指す姿であって、それぞれの「実施の方向性」につきましては、「①歳入を増やす」であるとか、「②歳出を減らす」というように、それぞれの性質に合わせて分類しております。

#### 斎藤委員

それはその通りでしょうね。「仙台市役所の目指す姿」の「①未来世代に責任ある財政運営」については事務局のおっしゃる通りだと思いますが、「②想定外の危機をしなやかに乗り越える組織」や、特に「③デジタル化によるサービスと組織のアップデート」、「④協働による新たな価値の創発」はいかがでしょうか。これらは「実施の方向性」と具体的にどのようなつながりがあるのか説明いただきたいと思います。

#### 事務局（行政経営課長）

例えば、「②想定外の危機をしなやかに乗り越える組織」については、「仙台市役所の目指す姿」の本文に掲げている通り、「平時にこそ財政的な余力や組織基盤をつくとともに、市民や企業などのパートナーと協働を進めていかなければならない」としております。財政面については「①歳入を増やす」、「②歳入を減らす」の取組みと併せて「④協働」などの取組みも進めていきたいと考えております。

「③デジタル化によるサービスと組織のアップデート」については、「③業務改革を推進する」による「(1)市民サービスを向上する」におけるデジタル化に関するサービス向上の取組みや、「(2)業務効率化を推進する」における「市役所 BPR の推進」や AI や RPA などを活用して組織に関してもアップデートしていきたいと考えております。

また、「④協働による新たな価値の創発」については、「②想定外の危機をしなやかに乗り越える組織」にも関連しますが、「④協働を推進する」のうち、「(1)多様な協働を推進する」において、これまで取り組んできた協働の基盤や学びの場をつくるような取組みや、新たな価値を創発するという視点では、「(4)公共施設・空間を効果的に活用する」における定禅寺エリアにおける公民連携や、公共空間の利活用についても掲げております。

最後に、「⑤働く場として選ばれる組織」は、「⑤組織変革を推進する」に大きくは該当しますが、先ほどご説明した「③業務改革を推進する」における業務改革についても、効率的な働き方という点においては関連するものと考えております。このように、性質に分けて取組みを掲げておりますが、それぞれが「仙台市役所の目指す姿」に向けて取り組んでいくものとしております。

#### 斎藤委員

「仙台市役所の目指す姿」と「実施の方向性」はそれぞれ関連し、相互に連携しているということですね。それを十分に意識して作られたものかどうかは分かりました。

最初の話に戻りまして、「経営指標」についてまたお話ししたいと思います。「実施の方向性」に

対応する形で「経営指標」を掲げていらっしゃるようで、先ほどの事務局からのご説明でも今後整理していきますという話があったかとは思いますが、例えば「④協働を推進する」という「経営指標」はこの2つだけで適切なのかなと感じました。それでは何がいいのかと言われて、すぐには出てこないのですが、改めてご説明いただけますか。

#### 事務局（行政経営課長）

「経営指標」につきましては、ご説明した通り今後それに相応しいものがないか、プランの策定に向けて検討してまいりたいと考えております。

ご指摘いただきました協働に関する「経営指標」については、非常に難しいところだと思っており、協働まちづくり推進プランのような個別計画との関係性も整理しながら、どのような指標が掲げられるか今後検討してまいりたいと思っております。

#### 斎藤委員

「実施項目」について、新規の取組みについては記載されているのですが、次期プランの構成の関係で掲載していないものもあるのではないかと思います。そのような整理はされていらっしゃいますか。

#### 事務局（行政経営課長）

基本的には取組みが継続しているものについては継続的に掲載しておりますが、取りまとめることができるものについてはひとつの項目に取りまとめております。また、概ね終了したものについても今回整理しております。例えば、DXの取組みなどには今年度着手をして終了してしまったものがありますので、そのような場合は取り除いております。

#### 菅井委員

「実施項目」について、今までのプランと比べてどれが継続しているか、掲載の仕方が変わってしまったので全然分からないように感じます。先ほど、削除された取組みがあると話していらっしゃいましたが、削除だけでなく、継続したものについても、前のプランの番号を振るなどしていただければ比較ができるのではないかと思います。

柱が変わってしまい、並べ替えが行われたことによって、継続性が分からなくなってしまっているかと思っておりますので、今までのプランとの対応が分かるようにしていただければいいと感じます。そうすれば取組みの継続の有無や、入れ替えした理由などが何となく見えてくるような気がします。

#### 事務局（総務部長）

前プランとの継続性については、確かにこの資料では分かりづらく、おそらく市民の皆様にはプランをお見せする際にも大事だと思いますので、今までの継続性やどこがどのように変わったのか、見やすくなるよう、中間案をお示しする際にも工夫を検討したいと思います。

#### 渡邊会長

ありがとうございます。私も基本的なところを確認したいのですが、本日机上配布されたP23やP25には現時点では云々という囲みの部分がありますが、パブリックコメントをする際にも、これが入っている形でなされると認識しています。また、新規項目について明るく見せる点についてもこのままでいくという理解でよろしいのか、確認させていただければと思います。

#### 事務局（行政経営課長）

その通りでございます。

### 渡邊会長

分かりました。それを踏まえてさらに意見を交換していただければと思いますが、いかがでしょうか。

### 山口委員

「実施項目」について概要が書いてあるのですが、細かい説明はどこまでされるのでしょうか。今日されるのでしょうか。担当局も書いてあるということは方向性が出ていると思うのですが、それはどのような場で打ち合わせされるのでしょうか。

### 渡邊会長

この資料がこのままパブリックコメントに出ていくという理解ですので、もっと書き込む必要があるということであればそこをご指摘いただくといいのではないかと思います。とはいうものの、事務局としての意見もあるかと思えます。

### 山口委員

P26 新規の「02 敬老乗車証制度のあり方の検討」と P27 新規の「03 敬老祝金のあり方の検討」については、具体的には今日話をされるのでしょうか。

### 事務局（総務局次長）

総務局次長の白山です。前提についてお話させていただきますが、今回お示ししている項目につきましては、例えば「敬老乗車証制度のあり方の検討」や「敬老祝金のあり方の検討」など、これから検討の俎上に乗せることとしているため、具体的な制度設計はこれからとなります。

今回挙げさせていただいた取組みはどちらかというと行革的な項目の位置付けになっておりますけれども、来年度以降、このプランの計画期間内に、それぞれの担当局において検討していくこととなります。例えば審議会を開催して、市民の皆様の意見もお聞きしながら制度設計を行い、見直しをするなどの検討に着手していくこととなります。

個別の「実施項目」が具体的な内容まで詰まっていて、このようにやっていくという形では今回お示ししておりません。ただ現状の認識として、例えば敬老乗車証制度については、震災1年後から現行の制度が始まっておりますけれども、それから概ね10年間が経過しておりまして、今後さらに高齢者人口が増える中で、この制度を維持していくためには一定程度的見直しが必要なのではないかという問題意識があります。敬老祝金についても同様ですが、やはり一定程度的見直しが必要だと考え、今回項目として出させていただいております。

### 山口委員

実は私は社会福祉審議会の方の委員にも就いておりまして、昨年度、老人保健福祉計画を作る際にもこのような項目が出てきていました。ということは、そちらとも関係があるということでしょうか。

### 事務局（行政経営課長）

そのようになります。

### 渡邊会長

他にはいかがでしょうか。

## 小粥委員

私からは2点お話しさせていただきます。

1点目は、P22「④協働を推進する」について、「新たな価値を生み出すことが重要」という表現を入れていただきとても良くなったのではないかと思います。そして、具体的に実施する項目はP35に記載されているのですが、せっかく「新たな価値を生み出すことが重要」という言葉を入れていただいたので、例えば「04 若者が活躍するまちづくりの推進」や「07 市民との対話の機会や場の確保」という部分に、新たな価値を見出せるような対話というようなニュアンスを入れていただくと繋がりが出てくるのではないかと思います。

それから2点目です。P22「①歳入を増やす」には地域経済の活性化という表現が記載されています。そして、経済関係の内容は「仙台市経済成長戦略 2023」と対応させるとしていますが、歳入に地域経済の活性化の「実施項目」の記載がないように思います。また、「実施項目」のP25、P26について「①歳入を増やす」という部分には新規の項目が2つしかなく、P27の「②歳出を減らす」には新規の項目が多くあるように見えます。これらはあまり積極的でないイメージを与えていると感じています。そこで、P26「(2)多様な財源を増やす」には、例えば経済局が取り組まれているP36「09 地元企業の地域貢献や社会的課題解決等に資する取組みの推進」や、P34「13 仙台港貿易促進センターのあり方の検討」、P37「07 定禅寺通エリアのまちづくり組織との公民連携による都心部の賑わい・回遊性づくり」、P37「10 八木山動物公園の魅力向上」などの項目を記載してはどうかと思います。観光客を呼ぶことができるようなこれらの取組みは、財源を増やすことにつながります。ただ、過去からの経緯で整理の仕方があろうかと思いますが、無理もあるかもしれませんが、そのような視点もあるかと思いましたのでご検討をよろしくお願いいたします。

## 渡邊会長

ありがとうございます。それでは事務局からご発言願います。

### 事務局（行政経営課長）

まず、2点目について先にお答えいたしますと、「①歳入を増やす」という部分に地域経済の活性化による税源涵養を掲げておりますが、事務局側の整理といたしましては、やはり経済成長戦略など個別計画があるような場合はそちらで捕捉し、市役所経営プランではその他に市役所自身が取り組めるものを掲げております。そのため、「(2)多様な財源を増やす」という部分では、広告収入や財産の活用、ふるさと納税などを掲載しております。

また、ご指摘いただいた取組みについても、当然、地域活性化に資するものだとは思っておりますが、ここに掲げた趣旨としては、「(4)協働を推進する」の中で、民間活力の導入や地域との連携による新たな価値の創造などの視点で掲載するという整理をしております。表現はなお検討させていただきたいと考えております。

市民協働の部分については、市民局からお答えさせていただきたいと思います。

### 事務局（協働まちづくり推進部長）

協働まちづくり推進部長の高橋と申します。P35、価値を生み出す協働に関連して、「04 若者が活躍するまちづくりの推進」についてご意見がございました。この事業は、例えば若者に集まっていたいて、様々な行動の提案をまとめていただくとともに、若者の提案に基づいて庁内の関係部署と連携をして新たな事業を起すような事業等を行っております。そのような主旨なども含めて表現できるように考えたいと思います。

「07 市民との対話の機会や場の確保」については、創発的な取り組みというよりは一般の広聴制度に関わる内容を書いているのですが、どのような表現があり得るか、担当部署や事務局の方とも調整した上で、検討したいと思います。

## 渡邊会長

ありがとうございます。それでは山崎委員からお願いします。

## 山崎委員

山崎でございます。前回の会議で議論された主体性の部分が表現されており、非常に良くなったと思いながら読ませていただきました。

今のお話に関係するのですが、特に「④協働を推進する」や「⑤組織の変革を推進する」の取組みと概要を読んだところ、項目によっては具体的に書かれていて何をやるのか方向性が見えているものもありますが、具体性、抽象性がばらばらだと感じました。例えば、P35の「04 若者が活躍するまちづくりの推進」や、「07 市民との対話の機会や場の確保」のご説明がありましたが、この文章を読んだだけでは何をやるのか分かりません。方向性としてはとても素晴らしく、共感もするのですが、具体的に何をやるのかについては分からないと感じます。私は若者ではありませんが、学生たちや若い人たちがこの文章を読んだときに、具体的に何を仙台市の中で一緒にできるのか、何が変わっていくのかが見えてきません。パブリックコメントを求めた際に、いいと感じる人はおそらくコメントしませんので、意見が集まらないようになってしまうことを危惧しています。

かなり具体的に書かれている項目がある一方、抽象度が高い項目が散見されます。どこまで決まっているか、何をやっていくか、進捗度合いにもよると思うのですが、具体的な事例を入れるなどすれば、何が身の回りで起こっているのか理解が進むのではないかと思います。

## 渡邊会長

事務局から何かありますか。

## 事務局（行政経営課長）

ご意見いただいた通り、それぞれの取組みの進捗度合いによって表現の差があると思っておりますが、分かりやすい表現については、何か工夫ができないか考えてまいります。

## 渡邊会長

他に何かご意見はありますか。では関委員お願いいたします。

## 関委員

前回の意見を反映し、P19の下から4行目に「前例に縛られない」という言葉も入れていただきまして、市役所の変わろうという覚悟を感じました。素晴らしいと思います。

その点に関連するのですが、P40に「06 組織横断型プロジェクト・チームによる政策立案及び実行」という取組みがありますが、市役所らしくないと言っては失礼ですけれども、挑戦と進化という視点においてはこのような取組みは重要だと思います。組織を横断してひとつの課題を串刺しにしていくことは、今の中小企業の問題でもあるのですが、少ない優秀なプレーヤーで新しい価値を生み出すときには、自分の仕事以外のことにアンテナを張ってアイデアを出し合うことが重要だと感じます。それに対して、この取組みはこのプランを象徴するような「実施項目」ではないかと思います。

P25以降に新たにご提示いただきました「実施項目」ですが、主管の担当局は決めたほうが良いと考えております。ですが、連携すべき局が少ないのではないかと印象もあります。例えば、P27「01 予算編成を通じた事業の見直し」には担当する局がふたつ記載されています。一方で、P26「03 ふるさと納税制度の活用」のようなものはひとつの局だけでこれを成し遂げることができるだろうとも思いますし、例えば経済局では、その地域の中小企業が生産しているものの情報を把握しておられるとも思います。ですので、担当というより主管と考えるべきで、様々な局が協力して取り組んでいく必要があるのだと思います。そのような視点がないと、組織横断的に市役所全体

で取り組むことができず、縦割りの意識が強くなってしまおうと思います。単に担当とだけ書くと、みんなで一丸となって変えていくスケールメリットが出ないような気がしております、組織を串刺しにするような視点、前のめりに取り込むような局間の連動、プロジェクトベースや委員会を立ち上げて、若手の方や様々な経歴を持った民間出身者を入れるような取組みが「実施項目」に反映されるといいのではないかと感じました。

#### 渡邊会長

ご意見ありがとうございます。今日の議論に通底している問題だと思っておりますが、事務局からよろしく願いいたします。

#### 事務局（総務部長）

総務部長の谷田でございます。おっしゃる通り、個々の「実施項目」については主管として担当する局を記載しております。多くの課題について、組織を超えて連携しなければいけないのは当然でございますが、お金がかかるということであれば、財政局の所管となりますが、人に関するものであれば総務局が所管しております。

本プランをパブリックコメントとしてお示しする際に、その主たる事業の担当局としてお示しした方が、分かりやすいのではないかと思います作り込んでおりましたが、市役所として横串を刺して多くの課題に取り組んでいく意思を見せることも重要だと思っておりますので、表現を考えてまいりたいと存じます。

#### 渡邊会長

ありがとうございました。それでは館田委員、よろしく願いいたします。

#### 館田委員

館田です。皆さんがおっしゃっていたようなところが気になっていたのですが、他にいくつか意見を述べさせていただきます。P20、P21の「仙台市役所の目指す姿」はプラン全体に関わる基盤になるような部分だと思っておりますが、それぞれに①から⑤までの番号が振られてしまっているがために、「実施の方向性」との関係がどうなるのかを考えてしまうので、番号を振るのではなく書き方を工夫していただいて、全体が関わっていることを書いていただくといいのではないかと思います。

それから、「実施項目」のうち、この項目は「①歳入を増やす」という方向性に入るのではないと思われるものも色々あるように思います。ただ、マトリックスをどうしたらいいのかを考えると、あまり複雑な書き方をすると分かりづらいので、シンプルな形にするのがいいと思います。P23の「経営指標」に後ほど目標と実績を記載することになるかと思いますが、成果が見えやすくなると思います。例えば経済局が取り組んでいるものでも、成果が大きく見えそうなものがあれば、最初から「①歳入を増やす」という方向性に入れてもいいのではないのでしょうか。

そして、2つ質問があります。まず、今後のスケジュールについて、パブリックコメントを今後実施されるとご発言いただきました。これまで何年間か委員に就かせていただいておりますが、いつもパブリックコメントが少なく、市民意見を集める意味があるのだろうかと考えてしまいます。以前は、もっとパブリックコメントを増やす努力をしてほしいというお話が出た後、意見が少し増えたこともあったかと思っておりますので、今回、市民の意見を増やすために何かお考えがあるのかお尋ねしたいです。

それから、このプランの策定について質問があります。プランの策定は3月中と書いてありますが、現在の「実施項目」は具体的なことが分からないため、突っ込んで議論ができないように感じます。そのため、3月中にプランが策定されると考えてよろしいかお尋ねしたいと思っております。



### 事務局（行政経営課長）

まず、パブリックコメントにつきましては、前回の数字等を見る限り増やす努力が必要だろうと  
思っております。今回もホームページの周知や、12月号の市政だよりなどにも載せて周知を図っ  
ていきたいと考えておりました。

また、「実施項目」につきましては、プラン策定時点でお示しできるものはすべてお示ししたい  
と考えておりますが、「進行管理」にも書かせていただいた通り、プランを策定して終わりという  
ことではなく、その後に進捗したものや追加できるものは、適宜追記してまいりたいと考えており  
ます。

### 館田委員

今回でなくてもいいのですが、デジタル化も進んでいますので、若い人も見れるように、パブリ  
ックコメントについてもぜひ SNS などを通じた意見募集をご検討いただければと思います。

### 渡邊会長

ありがとうございます。なかなか難しい問題だと思います。

### 山口委員

市政だよりや仙台市のホームページを見るなど、パブリックコメントのやり方には色々あると思  
うのですが、例えば老人福祉計画のようなものについてパブリックコメントをする際は、何のため  
にやるのかを分かってもらえなければ、関心がない方は全然意見を出してくれません。この経営戦  
略会議は、市民のために行っておりますので、その部分をやはり強調しないとイケないと思います。

私の提案は、説明会のようなものを開くことです。会場に人が来るかどうかは分かりませんが、  
やはりこうした機会を広げるためには、このパブリックコメントの目的をもっと分かりやすく説明  
して、市民に来てもらったほうが意見が集まると思います。我々はずっと会議で議論をしているか  
ら分かりますが、一般市民の方は冊子を見ても分からないのではないかと感じます。

最後にひとつ言わせていただきたいのですが、「②歳出を減らす」という項目について、新規項  
目が3つありますが、これを見てしまうと事業が無くなってしまわないか、予算が減ってしま  
うのではないかと一般の方は考えてしまいます。先ほど、敬老祝金について質問しましたが、見  
直すということになると、金額を減らしたり、支給をしなかったりすることになると皆さん受け取  
ってしまうと思います。児童クラブの保護者負担金についても、見直すということは値上げをする  
ということではないか、市としてはあまりお金を出さなくなるのではないかと受け取ってしまうの  
ではないかと思えます。

### 渡邊会長

ありがとうございます。先ほど難しいと申し上げましたが、まだ議論の途上のもの、まだ方向性  
もそれほど固まっていないものもたくさんあると思いますので、それでも掲載する必要がある場合  
は難しさがあるように感じます。

少し話を戻しまして、単にパブリックコメントをするというよりは、説明会のようにもっと丁寧  
にこのプランの中身を追うことができるような仕組みがあるといいと感じます。例えば、今日の議  
論のメインは「実施項目」かと思いますが、それぞれの取組みには背景があると思います。全部網  
羅的に説明することは現実的ではないことは確かですが、やはり見る方が見ると少しがっかりして  
しまうように読めてしまう場合もありますので、作り込み方や見せ方を考える必要があるかと思  
います。

### 事務局（総務局長）

総務局長の吉野でございます。様々なご意見ありがとうございます。この計画は、次年度からの

5年間の中で仙台市が取り組んでいくものでして、今ご指摘があったような、どちらかというところで行革的な取り組みについても、これまでも色々な経過を辿ってきております。例えば、議会のような様々な場でお話をしてくれているのですが、これに着手しなければならない時期に来ておまして、このような項目を掲載しております。

例えば、敬老乗車証や敬老祝金の問題など、これまでも議会や常任委員会でご説明をしてくれておりますが、今後見直しをするにあたっては、その都度、議会や町内会、必要に応じて説明会など、そのようなものを積み重ねてまいりたいと思います。何の脈絡もなく、突如始めるということではなく、本市としてぜひ着手をしたいという意味表示として、本プランに載せたいと考えております。

ただ、今ご指摘があったように、「②歳出を減らす」という方向性に位置付けられてしまうと最終的にはそうなってしまうのかという風にも考えてしまう部分があり、悩ましいのですが、工夫をしてみたいと思います。

繰り返しになりますが、3月の段階でどこまで示すことができるかという部分はありますが、今後の5年間の方向性と段取りを示し、進めてまいりたいと思います。新年度になりましても、この会議も含めて、ひとつひとつの事業について丁寧に経過を説明しながら進めてまいりたいと考えております。

### 山崎委員

山崎ございます。非常に難しい問題だと思って聞いておりました。行財政改革についてはあまりコメントをしてこなかったのですが、パブリックコメントで意見を集めるために一番いいことは、利害関係者に意見をお尋ねすることだと思っております。利害関係者でないとコメントが出て来ませんから、例えば高齢者が多いところに向けてお尋ねすれば意見が集まるでしょうし、児童館や給食について変えていくということであれば、保護者が多いところにお尋ねすると意見が増えるだろうなと思っております。もちろん、それをやるかどうかは、また別の話ではあるのですが。

このプランを読んでいると、「②歳出を減らす」というところに、「(1) 取り組みを見直す」、「(2) 公共インフラを見直す」など、玉虫色の書き方をされているように感じます。ただ、やはり歳出を減らさなくては困ったところまでできているというのはおそらく事実だとは思っています。しかし、市民の皆さんからすると、これまでかけられたコストが下がっていただけなのであればやはり反対になってしまうと思うのですが、コストを下げる一方でサービスを上げていくような工夫があればいいのではないかと感じます。例えば、デジタルサービスのようなものを入れることによって、コストを下げながら利便性を上げることができるという部分はあると思っております。「②歳出を減らす」という項目だけに「実施項目」を入れてしまうと、文章を読まなくてもこれは減ってしまうと思うので、これは見せ方の問題になるかもしれませんが、コストを下げながらサービスを上げ、効率化を進めていくというような見せ方をすれば何とかなのではないかと思いました。

うまい書き方をしているのは、P26「(3) 受益と負担を適正化する」という表現です。これは負担だけが増えるというイメージではなく、受益の部分もあるという見せ方ができていると思っております。おそらく、必ず歳出を減らしていけないといけませんが、市民の皆さんにとってもメリットがあるということを少しでも示すことができるような書き方があれば、市民の理解がより得やすいのではないかと感じました。

### 渡邊会長

なかなか難しいところかとは思いますが、表現によってはやはりがっかりするような方がいるということは、当然あり得ると思っておりますのでお気を付けいただければと思います。今回の議論の中で、協働というようなキーワードからすると大事な論点だと思っておりますので、少し大変でしょうけれども、さらにいいものを目指していただければと思います。他にいかがでしょうか。

### 菅井委員

今年の春、仙台資料基本計画が作られて、それに対応して各分野でこのようにして計画が作られていて、11月22日には3つか4つぐらいの中間案が出るのではないかと思います。そうすると、おそらく市民は計画を読まないのではないかと思います。皆さんパブリックコメントと言いますが、私は形式的に意見を聴取しているだけのようには見えません。本気になって市民からご意見をいただくということになると、分厚い冊子ではまず無理だと思います。それこそ、意見をいただくのであれば、誰でも簡単に読むことができるような、目に見えるような概要版を作ったほうが良いのではないかと思います。ただ、言いたいことを述べるとすると、分厚い冊子が必要になりますので、そこが悩ましいように感じます。

### 渡邊会長

ありがとうございます。時間が限られている中で、事務局としてどこまでできるのかについては、何とも言えないところがあるかと思います。しかし、今日は大事な議論をしているように思いますので、できる範囲で対応していただくとともに、仮に今回はできなくても、この次の機会にはぜひ当初から段取りを組んで対応していただくというのではないかと思います。どなたか他にご意見はありますか。

### 山口委員

このような文章を読むのは我々でも大変ですので、普通の市民が読みやすいように可視化することが重要だと思います。例えば概要版を図式化して、パワーポイントで分かりやすい資料を作るのはどうでしょうか。私が所属している町内会でもパワーポイントを使って1月に説明会をやると思っていますが、このようなことを考えていただきたいと思います。

### 渡邊会長

様々注文が付いておりますが、ご検討よろしくお願ひします。見開き1枚で読むことができるような概要版は少しずつ増えてきているかとは思ひますので、ぜひできる範囲で対応していただきたいと思ひます。

他にいかがでしょうか。少し早めですけれども、一通りご意見は出尽くしたと受け止めてよろしいでしょうか。それではこの議題についての意見交換はここまでにしたいと思ひます。ぜひ事務局で検討をお願いしたいと思ひます。

以上で、本日予定されていた議題は終了となりますけれども、他に皆さんから何かござひますか。よろしいでしょうか。なければ以上をもちまして、本日の議事を終了したいと思ひます。事務局にマイクをお返しします。

### (3) 閉 会

#### 事務局（司会）

渡邊会長ありがとうございます。閉会にあたりまして総務局長より一言ごあいさつを申し上げます。

#### 事務局（総務局長）

本日も活発なご議論をいただきまして本当にありがとうございます。我々もプランを作りながら、最終的に年度末までに作り上げていく過程の中で、どの程度までお示ししたらいいのか悩みながら進めておりまして、資料として至らない部分が多くあり大変申し訳ございませんでした。市民の皆様には誤解を生むようなことがあつてはならないと思ひておりますので、厳しい状況の中でこのような項目については着手をしたいということが伝わるように工夫をしたいと思ひます。

これらの「実施項目」の中には、3年程度で結論まで行くものや、5年間かかるものもあろうか

と思います。当然、その過程の中では予算編成や議会での審議も十分に踏まえながら進めることとなります。また、このプランについてパブリックコメントを行います。各事業についてはそれぞれの担当局において、改めて地元説明会を行ったり、パブリックコメントを行ったりした上で、丁寧に進めてまいりたいと考えております。冊子の状態では市民の皆様には読んでもらえないこともあるかと思っておりますので、2枚ぐらいでプランの内容がざくっと分かるような概要版も合わせて作ってまいりたいと考えております。

本日は本当にどうもありがとうございました。

#### 事務局（司会）

それでは最後に事務局より連絡事項が2点ございます。

まず1点目でございます。本日の会議の議事録につきましては、事務局で案を作成いたしまして、皆様に確認いただいた後に、斎藤委員に署名をいただく予定でございますので、よろしくお願いたします。

次に2点目、今後の会議の日程についてでございます。次回、第4回につきましては、年明けの1月13日（木曜日）を現時点では予定しております。詳細が決まりましたら、改めてご案内を差し上げたいと存じますので、よろしくお願いたします。

以上をもちまして令和3年度第3回仙台市経営戦略会議を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。

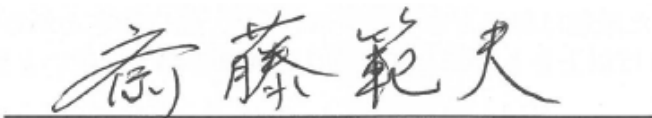
#### 議事録署名委員の署名

◦会 長（渡邊委員）



渡邊浩文

◦署名委員（斎藤委員）



斎藤 範夫